2024 年 10 月 30 日
自治労本部　総合企画総務局
㈱自治労サービス　IT センター

県本部システム担当者向けアンケート結果のまとめ

～全国共有ストレージの方向性について～

１．回答状況

2024 年 10 月 17 日時点で、44 県本部 1 社保労連より回答があった。
回答した県本部担当者の経験年数は、「３年以上」が約７割、「１年以上、２年未満」が約２割と、大半が３年以上の長期に渡って担当していることが分かった。

２．回答結果（概要）

（１）IT センターのサポート体制について

① 約９割の県本部が対応の質とスピードに「満足」と回答。
② 「助かっている点」については、主に「緊急時の迅速な対応が助かっている」や「遠隔・電話でのサポートが親切丁寧だ」との回答があった。

（２）PC の購入について

① 約５割が「指定スペックなので安心」と回答し、約３割が、「自由に選べる方がよい」と回答。

（３）セキュリティについて

① 約８割が「安心」と回答。１割程度、「不安」と回答する県本部も。
② 課題や不安に感じる点は、職員の知識・意識のばらつきがあり、「パスワード管理や共有 PC の使用において、意識差に不安を感じる」といった回答や「セキュリティ対策に疎い職員が多く、教育や研修が必要」という意見があった。

（４）クラウド化の提案について

① 約７割が「とても賛成」「賛成」と回答。残りは「どちらとも言えない」と回答し、「反対」の回答は無かった。
② 「賛成」する主な理由には、「外部から県本部サーバーに接続することで、外での仕事が非常に捗る」「職場に縛られない働き方を求められる時代であり、データなのに場所に縛られるのはナンセンス」など、外部からデータアクセスできることに対する好意的な意見があった。一方で、「ID・パスワー

ドの管理等セキュリティ対策が課題」といったセキュリティ対策の必要性に対する回答も見られた。

③ 今後のサポートレベルについては、約８割が「今と同じサポート」を希望し、一部を自前で整えたいと回答したのは約２割の県本部となった。

④ PC や関連機器、ネットワークや回線の自由選択を希望するかどうかについては、「希望しない」と答えた県本部が６割弱あった一方で、「希望する」が約３割あった。

⑤ クラウド化に対するイメージについては、「書記局の外からもファイルアクセスでき、便利になりそう」が３割、「緊急時にスマホやタブレット端末からアクセスできるのは助かる」を選んだのが３割弱となった。一方で、「不正アクセスの可能性など、安全面が重要だ（２割弱)」、「新しいサービスを導入すると、使いこなせるか不安を感じる（１割弱)」と安全面や不安を感じる回答も一定数あった。

⑥ クラウド化に伴う利便性の向上については、「帰宅後でもファイルを取り出しメール添付して送ることができるなど、自由度が広がる」や「災害時や即時対応の必要な時、疫病の際にどうしてもアクセスしなければならない場合などにも、容易にセキュリティリスクを低減した状態でアクセスできるようになれば良い」といった外部からのアクセスや、緊急時におけるアクセスに期待する声が多く見られた。

⑦ 今後の IT 環境への要望や提案では、「ライセンス契約を全体化してほしい」といった IT 環境の維持コストに関する要望や、「不正アクセスやファイル流出の防止が課題」といったセキュリティに関する意見があった。

（５）IT 環境の改善要望や県本部の課題について

① 改善したいこととしては、「役職員の IT に関する知識不足」や「特定の役職員への IT 業務の偏り」など、PC やツールを使う「人」の課題について、多くの県本部から回答があった。また、日々の業務で感じていることには「クラウドや AI の活用は業務効率化に限らず運動推進・組織化の視点でも改善につながる」といった IT 活用への期待や、「紙・FAX のデジタル・ペーパレス化」といった、日常の資料のデジタル化の課題等について回答があった。

② 環境改善のために必要なことは、全体として「役職員の意識改革や知識の習得、IT スキル・リテラシーの向上」といった、知識や技術の向上に関する意見が多く見られた。

３．アンケート回答を踏まえた全国共有ストレージの今後の方向性

回答を踏まえ、本部は、全国共有ストレージ（ファイルサーバー）をはじめとする IT 環境のクラウド化にむけ本格的に検討を進めることとする。サポート形式やサ

ポートのレベルを選択式とするかどうかは、クラウド化と並行して引き続き各県本部の意見を伺いつつ、継続して検討を行う。

４．回答結果（詳細データ）

次ページ以降、各県本部からの回答を網羅的に列記。また、下記 kintone アプリより、全ての県本部の回答が閲覧可。

【アンケート】IT・情報担当者向け（2024 年 9 月）
https://jichiro.cybozu.com/k/1194/

５．その他

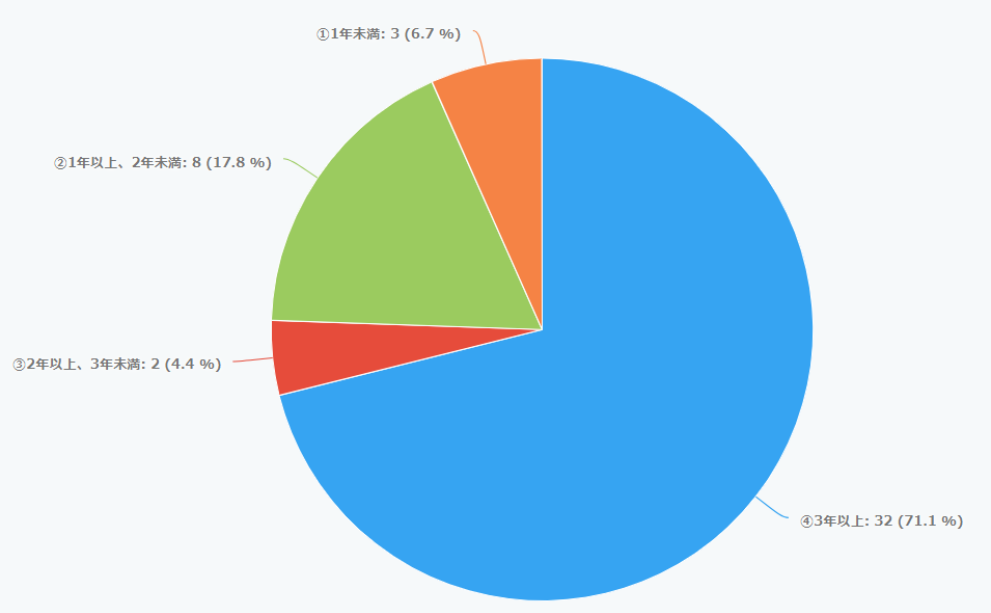
アンケート結果等についての問い合わせは、電話または「メッセージ」で総合企画総務局（情報担当：羽鳥／TEL：03-3263-0273）まで。

以上

＜＜県本部からのアンケート回答結果＞＞

1. 基本情報

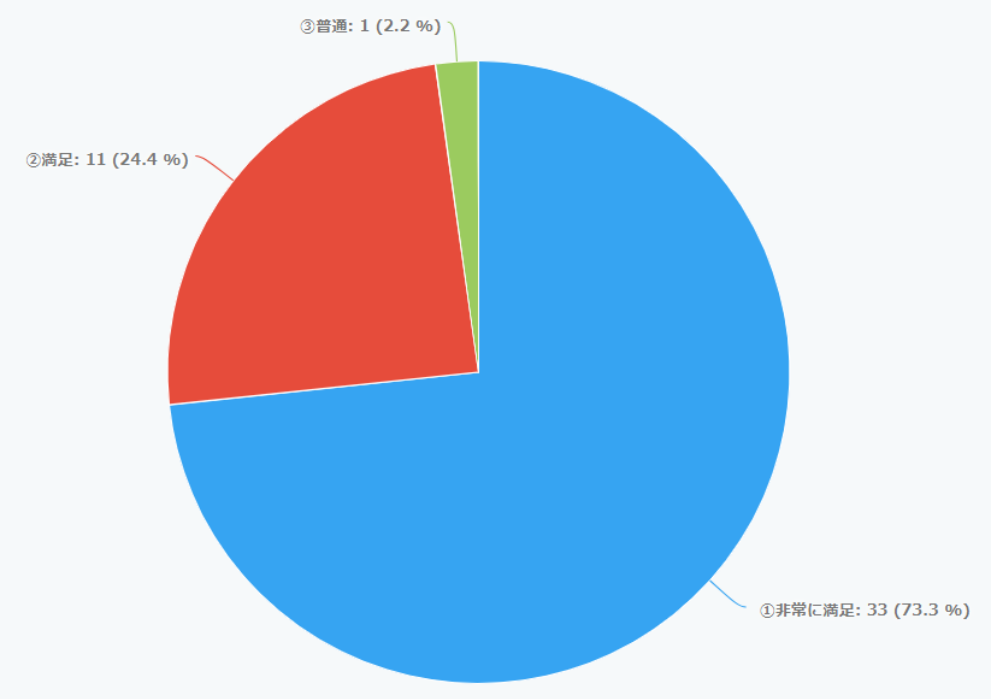
①1 年未満②1 年以上、2 年未満③2 年以上、3 年未満④3 年以上



2. 現在の IT 環境とサポート体制について

（1）IT センター（㈱自治労サービス）の対応の質とスピードに対する満足度を教えて下さい。

①非常に満足 ②満足 ③普通 ④不満 ⑤非常に不満



（2）IT サポート体制を通じて助かっている点を教えてください。（自由記述）

■1：遠隔サポート

■2：PC の不具合等に対して、早急に対応していただける点。

■3：リモートで即対応いただき、感謝しております。

■4：電話での問い合わせが可能なため、迅速に対応いただいている

■5：担当になったばかりで、PC や IT 等について詳しくないため、わからないことをお聞きしたりすることができ助かっている。

■6：作動不良の際にも、リモートで迅速に対応していただける。

■7：電話でのサポートに対応してもらえること

■8：リモートでの設定変更などは、大変ありがたいサービスだと感じている。

■9：IT の関係でわからないことが多く、時々問合せさせていただいておりますが、IT に詳しくない私にも丁寧にわかりやすく的確にご回答いただいている点。今までは県本部独自のストレージでデータ管理していましたが、来年本部の共有ストレージに移行するため、その乗り換えにあたっても、さまざま相談に乗っていただいており、助かっています。

■10：緊急時などもサポートしてくれるので安心。

■11：困ったとき、電話ですぐに対応してくれる。
分かりやすく教えてくれる。〃

■12：リモートで操作して問題に対処いただけることは助かっています。

■13：トラブル時にリモート対応が助かる

■14：キントーンの経過報告の仕様や通信遅延について問い合わせた際、電話でスムーズに対応いただける点

■15：不具合があった場合など相談すると早急に対応いただいて助かっております。

■16：職員からの問い合わせに対し、担当者だけでは対処できない時があり、直接連絡していただくことにより負担軽減となっている

■17：・専門的な知識を的確に教えてくれる。
・誤って削除したデータを迅速に復元してくれる。

■18：PC 操作でわからない部分は遠隔でサポートしてもらえる。

■19：パソコンに不具合が発生したときのサポート。

■20：いつでも PC で不具合の相談や、恐らく IT センター管轄外の PC 関連の困りごとも丁寧に説明していただいています。また県本部ごとの実情に合わせてサポートもしていただき、御世話になっています。

■21：パソコン購入の斡旋。セキュリティの設定。
パソコンの動作が遅い、起動しないなど不具合が発生した時に、こちらで解決できない場合のサポート。

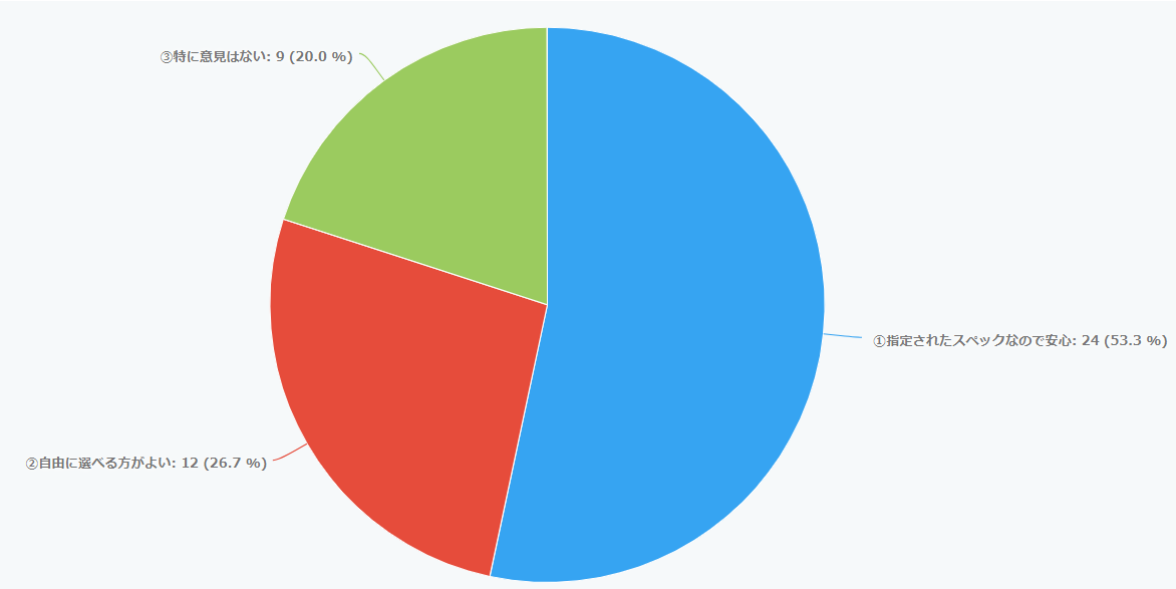
■22：あまりパソコンに詳しくないので、リモートで操作してもらえるのが非常に助かります。

■23：困ったとき（回線が遅くなったときなど）に親身にサポートしてもらえる点。

ただし、リモートなので多少のもどかしさがある。
■24：● 県本部レベルの組織規模では持ち難い、専門的な知見を持って対応してもらえる
● 県本部内情報担当者がいない場合でも、代わりに対応してもらえる
● 他県本部の IT 環境等についての情報を提供してもらえる〃
■25：ガルーンの使用方法、設定など、マニュアルを読んでもわからない設定項目など多々あるが、気軽に相談できるので助かっています。
■26：ブルースクリーン発生時などトラブルに柔軟に対応してもらいました。
■27：困った時はすぐに遠隔操作で対応してもらえる点
■28：細かい内容の問い合わせでも応対してくださるので、知識の乏しい私には大助かりです。大変お世話になっています。
■29：専門的な部分をサポートいただいている。
■30：ＰＣの不具合等の相談に迅速に対応いただけて、ありがたいです。
また、県本部ネットの作成や運営におけるさまざまな疑問にいつも丁寧にお答えいただき、とても心強いです。
■31：質問に対しての回答だけでなく、よりよい解決法の提案をしてくれる
■32：困ったときに、すぐ対応してもらえる
■33：困ったとき、いつも親切丁寧に対応していただき助かっています。ありがとうございます。
■34：電話にて迅速な対応をいただいている。
■35：IT に疎い者でも丁寧に対応してもらえるため、人事異動があっても安心。
■36：ある程度のトラブル（ネットに繋がらない等）に関しては、独自で解決できるが、専門的な知識を必要とするもの（細かな設定、PC の動作が遅い時の対処法など）がどうしても発生するので、その点、IT センターに電話をして、リモートで対処いただけているので、とても助かっています。いつもありがとうございます。
■37：IT に詳しい役職員がいないため、何かトラブルが起きると県本部内では対応できない。こちらが必要としているサポートをすぐに対応してただきとても助かる。
■38：昨年システム担当となった直後の不安な状態のなか　パソコン入替やＮＡＳ導入など様々な手続きについてスムーズに指導してもらった。遠隔操作でパソコンのトラブル等のサポートをしてもらえる点が助かっている。
■39：PC 購入から入替、PC の常態が悪い時など丁寧な対応いただいている。
ここが一番ありがたい。〃
■40：詳しい者がおらず、ＰＣやネット環境に不具合が生じたときにすぐに対応いただき、非常に助かっています。
■41：細かい点についても、対応したいただき、感謝しています。

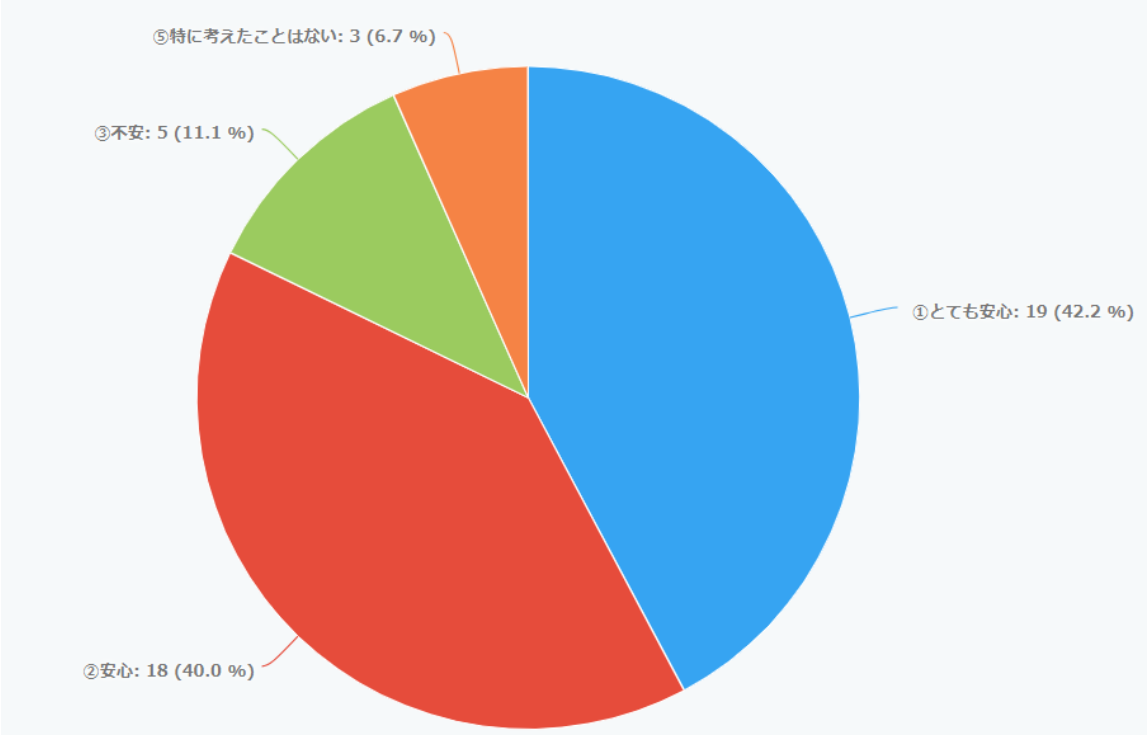
（3）県本部パソコンの購入について、自治労本部が斡旋するパソコンしか購入できない現状についてどう思いますか？

①指定されたスペックなので安心 ②自由に選べる方がよい ③特に意見はない



（4）「セキュリティ」について、今の感覚を教えて下さい。（選択）

①とても安心 ②安心 ③不安 ④とても不安 ⑤特に考えたことはない



（5）県本部で IT ツールを活用していて、「セキュリティ」について、課題に感じる点や不安を覚えたことはありますか？（自由記述）

■1：機器やソフトに関する不安は特にない。職員の知識・意識にばらつきある。
（パスワードを機器にメモ書きする、共有 PC で個人 ID を使用する、他）

■2：迷惑メールがとても多く、ウイルス感染や情報漏洩の可能性に不安を感じる。
※outlook を使用
また、県本部外の様々な場所でモバイル PC を利用し、そのパソコンを県本部に持ち帰って共有ネットワークにつないで作業を行っているので、セキュリティソフトは入れているものの、ウイルスを持ち込んだりしないか不安を感じる。

■3：セキュリティ等のこともあり仕方がないが、慢性的に PC 動作が遅い。

■4：どこにセキュリティリスクがあるか、認識されていない部分が多いため、気を付け方に個々人で差があると思います。

■5：県本部のパソコンを通じ自由にあらゆるサイトにアクセスできるため、有害サイトの被害に遭う可能性もあるのではないか。
また、ウイルス感染が全国的に広まることがないのか。〃

■6：最近は県警などがランサムウェア等の被害について積極的に講演している。
それを聴くとうちは本当に大丈夫なのかと不安になる。〃

■7：セキュリティに限らず、個人の IT リテラシーの問題が大きい。
知らずに不要なソフトやアプリをインストールして動作が遅くなる人もおり
個人の IT リテラシーを高めることが課題。

■8：● どの程度のセキュリティレベルを確保すべきか判断する知識がない。
● 今後、書記局に縛られない多様な働き方（自宅や単組事務所からの府本部業務遂行など）の導入を検討しているが、現状 IT センターが提供するシステム（共有サーバや PC ラインナップ）では対応が難しい。府本部書記局外からのサーバへのアクセス、持ち運びが前提のより小型のノート PC やタブレットなど、ラインナップが増えることは大いに歓迎する。
● 一方で、本部及び IT センターが提供する高いセキュリティレベルが、事業所の規模に対し手相応のコストをかけて必ずしも必要なのかも疑問。〃

■9：機器的には、問題ないと思うが、使う人間側の問題で情報の流出どが怖い。セキュリティに関して、研修などもおこなっていない。そのため、今回、提案のあったクラウド化になることで、スマホや自宅のＰＣなど、あるゆる場所、機器からアクセスできるとなれば、セキュリティについて、もう少ししっかりとした考え方を県本部として持つ必要があるのではないかと考えています。

■10：専従者や書記には PC セキュリティ対策などに疎い。
トラブル時の対応などの教育が必要と感じる。〃

■11：「セキュリティ対策がしてある」と判断することができる職員がいないため、どの程度まで対策をとればよいかわからない。

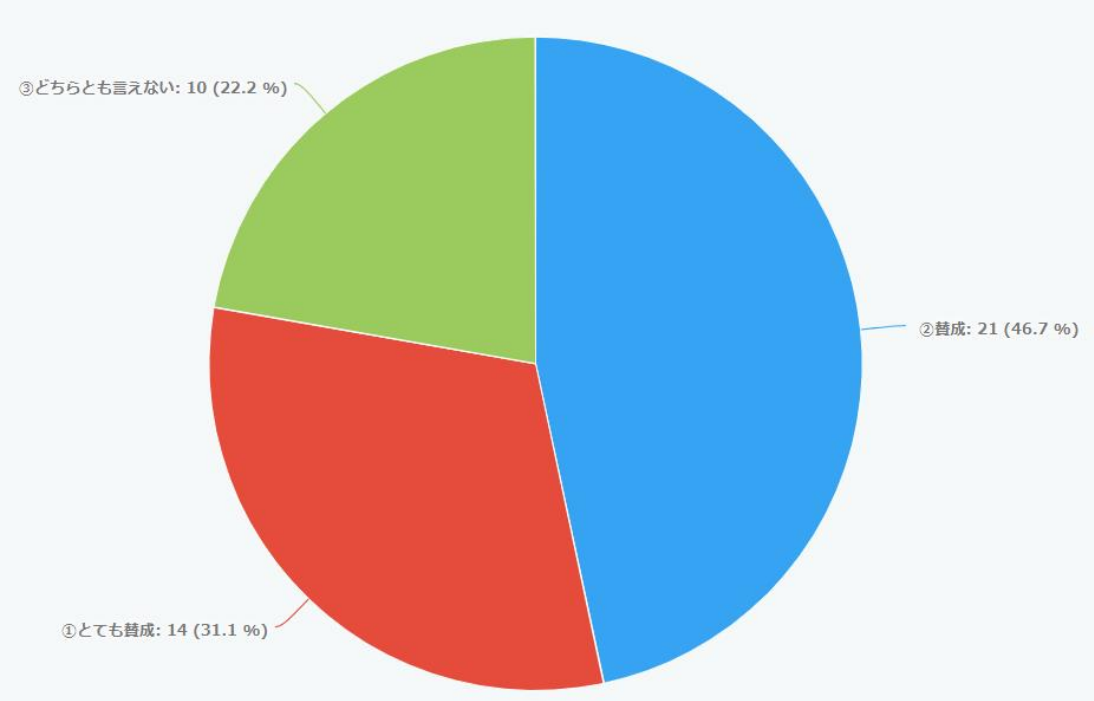
■12：共有メールに明らかなフィッシングメールが定期的に受信されている。

メールまわりのセキュリティは少し弱いのでは。〃
■13：PC になれていない職員が出所不明のフリーソフトをダウンロードしていることがあり、若干の不安を感じる。
■14：インターネットからダウンロードしたものについてくるファイルの警告画面が度々出てくる。
セキュリティソフトが入っているのである程度安心してはいるが、各個人がダウンロードしたサイトまで把握できず、警告画面が出てきて相談されるとよくわからず困る。

3. 今後の IT 環境の方向性について

（1）クラウド化の提案について、どのように感じましたか？（選択）

①とても賛成 ②賛成 ③どちらとも言えない ④反対 ⑤とても反対



（2）（1）の回答について、そう考える理由を教えてください。（自由記述）

■1：どの端末でも、書記局以外からでもアクセスできるのは便利だと感じる。

■2：どこでもアクセスできる点が良い

■3：あらゆる端末から共有サーバーにアクセスできるため大いに賛成。ただし、セキュリティの強化は必須。

■4：サーバではなく、クラウドのほうが一般的になっているから。

■5：メリット・デメリットがあり、どちらがよいか判別がつかない。

■6：ランニングコストの削減につながるから

■7：クラウド化は時代の流れであり、利便性の点からも導入するメリット大。

■8：現状の共有サーバーでは、外からのアクセスができないため、ノートＰＣの事務所外での利用などの際に利便性が乏しいです。
使用する誰もがわかりやすい方法でデータにアクセスができるようになれば一番良いと思います。
また、必要なデータを保持しておく観点からも、時代に合わせてのクラウド化は理にかなっていると思いました。
データのバックアップやアクセスに関するセキュリティ対策は必要と考えますが、総評して良い方向性と感じます。〃

■9：事務所以外でもファイルを閲覧できるため

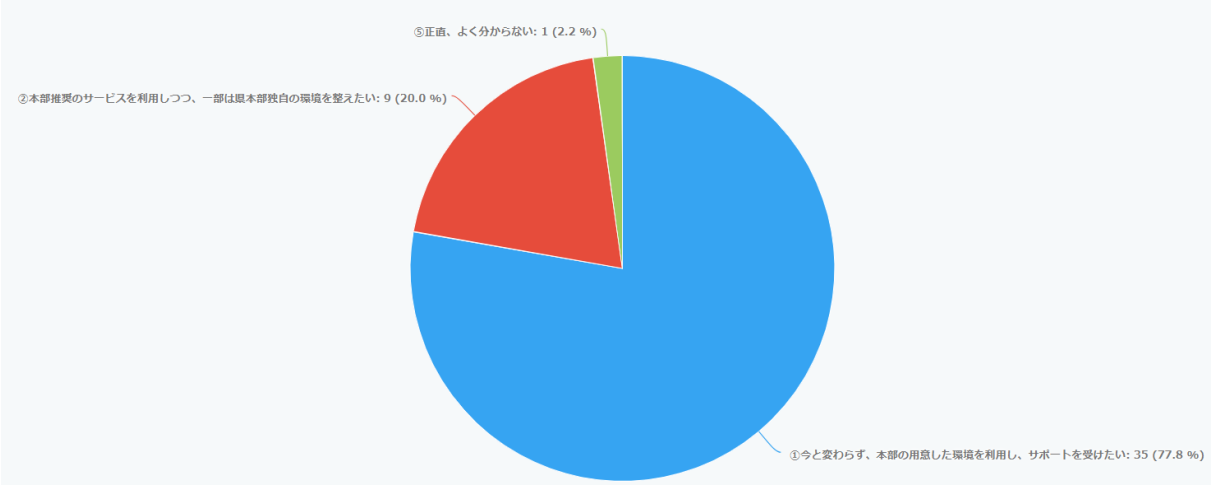
■10：外部から県本部サーバーに接続することで、外での仕事が非常に捗る

※セキュリティが不安との声がありましたので、限られた機器（本部貸与のノートPC等）のみ接続可能とするのか、利便性を重視し個人PCやスマホでも接続可能にするのかは気になります。〃
■11：ネット環境があればどこでもアクセスできるのは便利。一方、会議でも指摘されていたがＩＤ・パスワードの管理等セキュリティ対策が課題。
■12：書記局に居なくても業務ができるように。（反面、いつでも仕事をさせられる）
■13：オルグ時やリモートワークがやりやすくなる。働き方の幅がひろがる。
■14：出張や緊急時、スマホやタブレットからアクセスしやすくなる。
■15：個人的にはとても賛成。新型コロナのような出勤が大変な時や、長期の休み（育休など）も連絡があった場合対応できるようになる（労働条件的な問題は別として）。一方で、休職者（メンタルなど）が様々な事情で担当以外のファイルを勝手に変更されたりすると困る。〃
■16：クラウド化によりリモートワークが増やせると、書記局の働き方も改革できそうだから。
■17：周辺機器の導入や設定にかかる費用等が安く抑えられるのであれば、復帰を検討できるため。
■18：オンプレミスからクラウドに替わることは災害時等不測の事態も含めたデータの保存性の観点から有意義だと思うが、それ以上にアクセスする端末の制限を受けないよう仕様が変更される点に大いに賛成する。
職場に縛られない働き方を求められる時代であり、データなのに場所に縛られるのはナンセンスだと考える。〃
■19：便利にはなるので賛成だが、上記（5）に記載したとおり、心配面もある。
■20：コスト面は賛成
切り替え時の仕様変更、今後の導入サービスによりPCスペックが心配〃
■21：外部からもアクセスできるのは大変魅力的だと思います。
■22：最新データで共有・作成できる。メッセージ等で必要なデータを送ったりわずらわしい作業が減り、最新データがどれかわからなくなる等防げるため。
■23：・本部からの提案に同意。
・次の契約のタイミングという話であるが、早めに移行してもよいのでは。
■24：さまざまな勤務形態や環境に対して、柔軟に対応が可能となりそうだが、セキュリティ的に心配な面もある。賛成半分、反対半分というところ。
■25：①費用
費用が本当に安くなるのであれば賛成ですが、DC利用やオンプレの方がクラウドより安いイメージがあります。
特にストレージはSASが高いので、保存領域を分けてニアラインSASやSATAで物理で保存する領域を残した方が安いイメージです。
リプレイスが無くなるので５年ごとの更新費は安くなりますが、10年、20年で見て安くなるのか、具体が知りたいです。

また、クラウドはサービス契約の業者が多いと思いますが、その場合は値上げがあった際は約款に従わざるを得ないと思います。物理で５年毎に価格交渉した方が実態に合った予算が組みやすい気もします。
②セキュリティ
VPN を廃止するとのことですが、純粋なインターネット利用になるのでしょうか？セキュリティ周りを詳しく知りたいです。
現状がインターネット VPN なのか、イーサなのか、どういった構成か存じ上げませんが、インターネット利用で脆弱性を突かれないのか心配です。
ファイルサーバに選挙名簿等を保存している県本部も多いと思いますので・・
また、アクセス制御はどうなるのでしょうか。
県本部役職員の利用している端末がアクセスするのは良いのですが、第三者がアクセスできる可能性が無いような制御が必要と思います。エンドの端末ごとのアクセス制限を何らかのソフトで行うのでしょうか？
■26：県本部以外の場所から、共有ディスクにアクセスできるため。
■27：コロナ禍で、感染拡大予防対策としてリモートワークなどを行っていたが、共有ストレージにアクセスできないと、事前に USB で持ち帰り、足りない場合は出勤している人からファイルを送ってもらうなどのやり取りがとても無駄に感じていた。また、役員については、大会前など土日にわざわざ書記局に出向き、議案を作成するなどされていた。クラウド化することによって、書記局に行かずとも、共有ストレージにアクセスできる環境は、県本部から家が遠い役員・書記をはじめ、全ての役員・書記ともに働き方が大きく変わってくるし、強固なセキュリティが確立されることを前提で、便利になると思うし、取り入れてほしい。
一方で、いつでも、どこでも業務が出来るということで、休みの日や時間外労働が多くならないよう、各県本部で考えるべきところかもしれませんが、労働組合として注意しておくべきこともあると思います。〃
■28：どこまでのセキュリティが保てるのか心配。
■29：今までよりもコスト削減やパソコン利用の自由度が上がる半面、セキュリティ面での不安がある。
■30：基本的には賛成ですが、セキュリティ面で問題がないか少し不安。

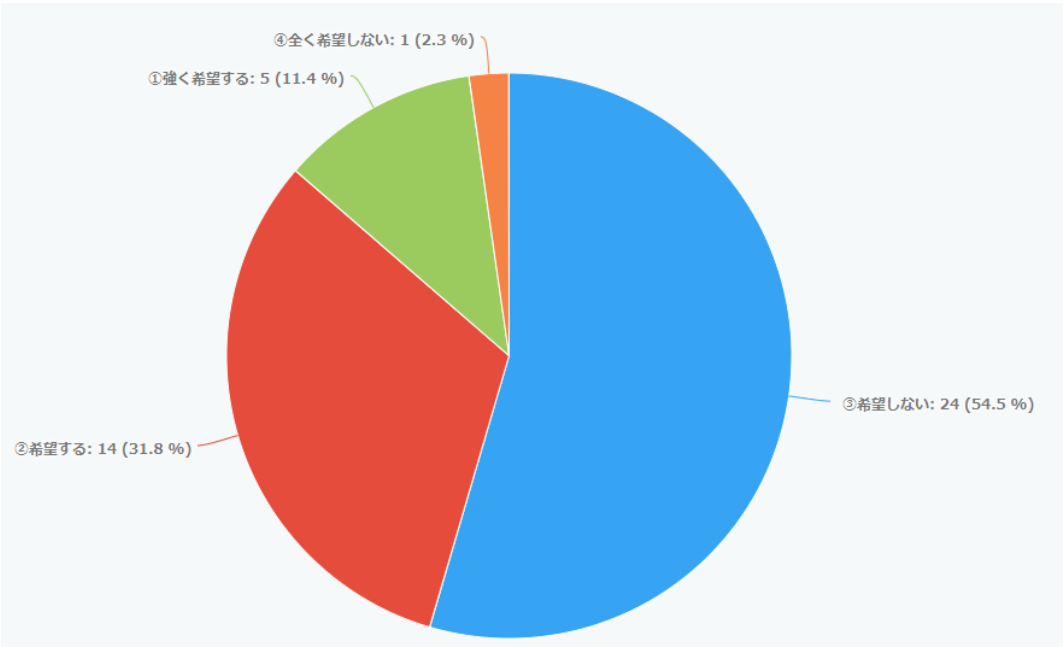
（3）方向性について、下記のうちどのサポートレベルを希望しますか。（選択）
※今回はあくまで「アンケート」ですので、貴県本部の意向を確定するものではありません。

①今と変わらず、本部の用意した環境を利用し、サポートを受けたい
②本部推奨のサービスを利用しつつ、一部は県本部独自の環境を整えたい
③完全に県本部で独自環境を構築したい
④地元の業者に環境構築や保守メンテナンスを依頼したい
⑤正直、よく分からない



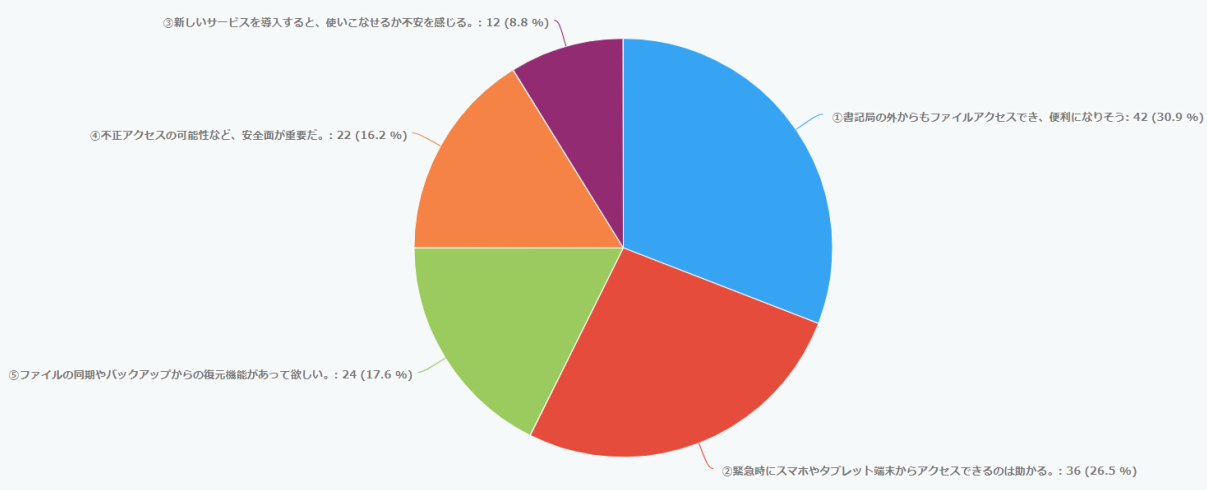
（4）県本部でPCや関連する機器、ネットワーク、回線を自由に選択できるようになることを希望しますか？（選択）

①強く希望する ②希望する ③希望しない ④全く希望しない



（5）ファイルサーバーのクラウド化に対するイメージを選択してください。（複数選択可）

①書記局の外からもファイルアクセスでき、便利になりそう
②緊急時にスマホやタブレット端末からアクセスできるのは助かる。
③新しいサービスを導入すると、使いこなせるか不安を感じる。
④不正アクセスの可能性など、安全面が重要だ。
⑤ファイルの同期やバックアップからの復元機能があって欲しい。



（6）ファイルサーバーをクラウド化することにより、どのような利便性の向上が期待できると感じていますか？（自由記述）

■1：どの端末でも、書記局以外からでもアクセスできるのは便利だと感じる。
■2：どこでもアクセスできる点が良い
■3：県本部事務局に限らず、様々な場所・端末からアクセスできるので業務的な効率が向上する。
■4：出張先での利用。
■5：メリットはあると思う。しかし、現時点でそのような必要性は感じない。
■6：書記局以外の場所からのアクセスが可能になる。
オンライン会議時にガルーン未接続端末からも、アクセスが可能になる。〞
■7：現在は、出先から共有フォルダのファイルを見ることができないが、
これが見れるようになれば、在宅勤務などを含め勤務形態にも広がりが出てくるように思う。
また、以前に帰宅後に急遽通知ファイルを単組に送らなければならないことがあったが、帰宅後でもファイルを取り出しメール添付して送ることができるなど、自由度が広がる。
■8：外にいてもデータがみられるようになれば、例えば外部で開催している会議の最中でも、必要なデータを取り出すことができるし、出張先や在宅でも急ぎの仕事への対応が可能になる。（上記（５）に記載されていることと同様のこと）。

■9：緊急時など書記局外からのファイルへのアクセルが可能となること。
■10：事務所外での利便性向上に期待したいです。
災害時や即時対応の必要な時、疫病の際にどうしてもアクセスしなければならない場合などにも、容易にセキュリティリスクを低減した状態でアクセスできるようになれば良いなと思います。
働き方の多様化に伴って、アクセスの方法に選択肢があることは、運動や事業の継続性の観点からも望ましいと考えます。
■11：いつでも外部からアクセスでファイル確認できるところ
■12：外部からデータ確認や資料作成が可能となる
■13：アクセスがしやすく、様々な事情でリモートワークが必要となった場合も対応しやすいと感じる
■14：出張中（移動を含む）のできる業務の範囲が拡大する
休日出勤が少なくなることにより、県本部の経費節減につながる〃
■15：オルグやリモートワークでの利便性の向上、移動時間の活用など、業務が効率化がはかれる。ペーパーレス化にもつながる。
■16：外部からのファイルアクセスが可能であれば、利便性が高まると思います。
■17：(5)①による書記局に縛られない働き方が選択肢になる ＝ 単組訪問先での業務 / 家庭事情に応じた在宅勤務等
緊急時ではないが②によるペーパーレス化の促進〃
■18：どこからでも、ファイルにアクセスできるので、利便性はかなりあがるでしょうが、リスクも感じます。
■19：セキュリティ、コストなどメリットはあると思う。
■20：現在はスプラッシュトップを契約し、書記局外からもアクセスすることがあるが、その契約が不要になるのはありがたい。
■21：外部アクセスができるようになる。逆にセキュリティ面の充実も不可欠。
■22：県本部以外の場所からアクセスできる。
■23：どこでもアクセスできるので、オルグや選挙時に便利。
■24：県本部からのアクセスではなく、いろんなところからアクセスできるようになることはありがたい
■25：在宅ワークやライフスタイルにあった業務が可能。出張先で作業できる。
■26：概ね、（２）で記載の通りですが、加えて、セキュリティ面でハードルがあるかもしれないが、非専従執行委員が出来ることも増え、専従役員の負担軽減にもつながるのではないかと思う。
■27：（出張が多い役員が書記局にいない場合）書記局からサーバーに入っているデータをメール送信する手間が省けて便利だと思う。
■28：まだよくわからない。

（7）今後のIT環境の改善に関して、何か具体的な要望や提案があれば教えてください。（自由記述）

■1：各県単位で行っているzoomのライセンス契約を、本部で一括して契約いただけるとありがたい。

■2：ノートPCのセキュリティ対策に関して、物理的な紛失などのリスクに対するオプションなどもご紹介いただけたらいいと感じています。現状のIT環境の浸透具合を考えると利活用するデータ上のリスクよりも、物理的な紛失などのリスクがまだまだ多いと感じます。

■3：クラウド化にあたり、不正アクセスやファイル流出防止が課題

■4：ガルーンのログの履歴を出してほしい

■5：システムは担当者で理解度に差があるため、できればこれまでどおり本部の用意した環境で、サポートを受けられる方が安心。県本部独自でできると良い部分もあるが、担当者まかせになった場合、何かあった際に対応ができなくなる方が問題。

■6：何せ予算がありません。できるだけ本部の推奨環境での運営に協力はしたいものの難しいのが現状です。officeライセンスの全体化、期待しています。

■7：● 「県本部は本部の子会社ではなく、それぞれが独立した組織」という考え方のもと、IT センターを利用したセキュリティレベルの確保を求めるかどうかは各県本部の判断に委ねられているが、もし情報流出などが生じた場合は全国で自治労のイメージダウンにつながる。コストをかけてセキュリティを確保していることが「真面目に生きたら馬鹿を見る」ような状態になっているようにも感じる。セキュリティに関しては本部/ITセンターで全国を強制的に統括し、その分その維持にかかるコストは本部が基礎サービスとして全額負担することが望ましい。● Office Professional Plusの「自治労全体での」導入を切に願います。

■8：写真データや動画など、ひと昔前に比べ、保存すると、かなりの容量を消費することから、兵庫では動画・写真については、共有に保存しないようにしていますが、管理が煩雑になりがちなので、クラウドに保存できれば助かります。

■9：動画作成やAIなど様々なサービスを導入する上でPCのスペックの向上が必要となってきます。PC入れ替えでなく、メモリの増設やCPUの載せ替えなど、スペックのアップグレードも含めた検討をよろしくお願いします。

■10：◆ファイルサーバの運用について
ファイルサーバのストレージを増やし続けると費用が嵩む一方と思いますが、運用レベルで今後の対策はどうされる予定でしょうか。クラウドにしろ、物理にしろ、何かしらルールを決めないとストレージは増やし続けることになり、費用は増え続けると思います。県本部ごとにアッパーを決める等の対応はしないのでしょうか？

■11：ＩＴセンターの方々に頼らず解決できる軽度なトラブルの対処法（できれば事例を交えつつ）など、情報担当者に対しての研修を行ってほしい。

■12：全国的に統一された今の環境には安心感がある。各県で対応となると、ＩＴ関係に詳しい人がいる県と、そうでない県の差が出てくる。

4. その他

（1）今回の提案に限らず、IT 環境全般を通じて、改善したいことや日々の業務で感じていることがあれば、教えて下さい。（自由記述）

■1：基本的なネットワーク、セキュリティの運用は本部にお任せしますが、細部は県本部の事情も出てくると思います。

■2：本部斡旋の PC について、4-5 年使うのに相応しいと言えるスペックではないと感じている。Windows Update 程度で PC がカクツキ仕事に支障が出ている。

■3：特に休日明けにパソコンが遅くなる点を改善してほしい。

■4：PC の起動が遅い。

■5：昨年より組織部門から任務替で総務をやっているため、IT 関係について知識等が不足しているなか、IT センターのサポートに感謝します。
山形県本部では総務部門を数人でしているため、兼務が多く、ＰＣ、ＩＴ関係の業務の対応が遅くなりがちになります。改善したいことなどあっても、対応ができないことが多い状況です。〃

■6：システムに詳しい役職員がいるのと、いないのとで、大きな差異があると感じる。われわれは後者なので、ある意味、本部の方向性に従うしかない。

■7：会議運営のペーパーレス化。会議運営のオンライン化

■8：現在、地元の業者に IT 環境の整備をお願いしているが、不具合が生じた時に即時に対応してもらえないことがある。ウィンドウズの更新のたびに作業の遅延が生じており、業務に支障が出ている。
（来年、本部の共有ストレージに移行することで、問題が解消することを期待。）

■9：Office365 の各ツールへの理解を、事務所全体で深めたいと常々考えています。Office365 のサブスクリプションなら、word・excel・パワポ以外にも様々な機能を使っていくことができて、良いと感じています。クラウドサービスや AI の活用は、業務効率化だけでなく運動の推進・組合員増加の視点においても改善につながるものがたくさんあると思っています。しかし、現状は使い方がわからない方も多く、使いこなせていない人が多数です。今は様々な部分で、新たなツールを自分自身が活用することで、ほかの皆さんにとっても便利な例を示していく段階だと考えていますが進みが遅く、もどかしくあります。
また、上記に伴ってセキュリティリスクへの対処や、個々人の IT リテラシーの向上も併せて高めていく必要があると考えます。
現状では、上記の点についてデジタルネイティブ世代が少ないこともあり、まだまだ改善の余地しかないと感じます。

■10：ガルーンのメール、メッセージは反応が遅くなりがちなので Slack のようなビジネスチャットツールを利用してみたい

■11：要望となりますが、ガルーンメッセージ機能について、メッセージに返信があった場合に一度見た後埋もれてしまったり後から探しづらい時があるので、やりとりがあったメッセージを分かりやすく表示する機能があるとありがたいです。

■12：県本部の資料や情報を単組がすぐに取得できるようなサービスが必要だと感じている。じちろうネットや県ネットがそうした機能を持っているのかもしれないが、無料のじちろうネットも更新をしていない単組があるしそこまで利便性を感じていないのかもしれいない。県ネットは高額な使用料と、独自回線を持たない単組がほとんどなので導入に踏み切れていない。また、日常的に中執による単組オルグを行っているためか、必要なものがあれば中執を通じて取得するというルートが定着していて県本部役員の中でＩＴによる情報共有にあまり必要性を感じていないように見受けられる。
■13：基本５年での PC の入れ替えは、県本部財政の大きな負担となっている。
担当者の IT に関する知識はまちまちだが、一定のレベル（簡単なトラブルは解決できる程度）になるような研修またはマニュアルがあれば助かります〃
■14：データでの資料提供に関して
県本部でもペーパーレス化のため、データでの資料提供をしているが、会議資料など含めて現状の資料を単純にデータ化しても見にくかったり、資料にメモがとれなかったりと不便な部分もみられる。いまの環境をそのまま IT 化するのではなく、データで見ること（ペーパーレス）を前提とした資料のつくり方、会議での見せ方（説明のやり方）が重要だと感じている。〃
■15：パソコンの動作が遅い時があることや、以前起動しなくなり修理に出したりとパソコンの不具合がたまにある。都度 IT センターの皆さんに対応いただいて申し訳ない。
■16:各役職員のパソコン等に紐づけて、勤怠管理システムも導入してくれると、様々な面でメリットが多いように感じます。
■17：途中過程デジタルが最終アナログになる部分などが多く残るので、その部分を効率化できればなぁと思う。例えば、ワードで文書作って、メールで送って、参加報告は FAX でもらう、集約も手作業みたいな。予算的なこと、単組の環境、書記のデジタルリテラシーなどの障害を取り除かないと、うちでは県ネットはなかなか進む話になりにくい。
■18：・個人の IT リテラシーを高めることが課題。
・TUNAG で県本部と単組役員を結ぶ機能は、とても有効と考えますが、予算がなく手が出そうにありません。。〃
■19：　県本部書記局が高齢化していることとも関係し、IT に関連する業務が特定の人間に全てかかる点が問題。「わからない」の一言で逃げるのではなく、「業務だから覚えなければならない」という視点も必要。
　IT 化・DX が圧倒的に遅れていると言われている行政より、自治労は全体としてさらに遅れているように感じる。IT スキルの高い若年層に対してはこのことも間接的に組織化阻害要因になっているのでは（機関紙はスマホでなく紙ベース、など）。上述の「それぞれが独立した組織」に阻まれて IT ノウハウが一切共有されず、IT 面だけをみれば零細企業の集合体の状態で、せっかくの IT センターも存在が活かされてい

ない。まずは県本部段階の IT 環境の大幅な底上げにむけ、本部の指導力に期待したい。

財政難の打破には業務の効率化は必須。県本部書記局内の業務は紙ベース・同等情報の転記が多すぎ、単組状況などの情報もデータベース化されずいまだ俗人化している。大阪独自でこの解決に乗り出そうとしているが、一部役員の理解はあるものの事実上一人で戦う状態に、限界を感じている。

■20：動画編集作業をするような事も増えてきているので、それに対応した機材の必要性を感じています。(本部斡旋 PC はスリム型なので、通常のグラフィックカードが使えない。メインメモリも足りない)

単組からの参加報告書など、いまだに FAX で受けることが多いが、Google フォームやフォームメーラーなど参加集約を電子化したい。

■21：役員から書記まで、情報セキュリティ研修やトラブル時の対応など、教育が不十分と感じることが多いです。専従を対象に勉強会など開催した方がよいと感じています。

■22：【仕事用 PC への要望】

現在共有フォルダに保存している写真をあけるのにかなりの時間を要するので改善したい。仕事にならない時ある。基本的に動作が遅い。５年たつと仕方ないとは思うがかなり動かない時があるので不満の声が多い

【ガルーンへの要望】

本部・県本部の発文を一括ダウンロードできるようにしてほしい。発文番号の検索が曖昧な時がある。スケジュール表で自分のスケジュール以外も月表示できるようにしてほしい。

■23：出欠登録システムについて現在フォームメーラーを使っているがデジエに比べると利便性が悪い。

・県本部と単組、単組間の情報、データのやり取りができるものがない。(県ネットに機能があるのか？)

・FAX の取り扱いについて今後どう考えていくのか。″

■24：メールボックスの保存容量を、県本部内でよくメールを使う人間を指定して、その人たちだけ容量増やす等はできないか？

定期的に不要なメールの削除はしているが、全体の文書管理、単組への発文、他の県本部への祝電メール等をしているのでどうしてもすぐにいっぱいになる。容量を考えてできるだけメッセージでやり取りをしているが、メール削除作業が頻回になると手間がかかる。

PC を５年に 1 回入れ替えているが、リース延長等が選択できれば費用面でも手間の面でも助かる。また、PC 保守が翌日オンサイト固定となっているが、センドバック保守も選べるようにしてほしい。

県本部ごとに必要な保守は異なると思うが、香川県本部ではオンサイトほどの保守はいらないので割高に感じる。

■25：wi-fi を使用したいという希望があるので別回線にならずに使えたらいいなと思います。
■26：ネットワークが不安定なのか、動作・反応がとても遅い。保存容量なども問題かもしれないが、ローカルフォルダをあまり使用していないのに、フリーズすることが多く、ワードなどのファイルを開くにも時間がかかる事が多々あり、困っている。県本部のほとんどのＰＣでそのような減少が起こる。
■27：県本部内 PC の動作が遅く、仕事の効率わるい。
PC が古いこともあるが、５年で保守が切れ PC を入れ替えることに予算がついていかないので我慢して使っている。〃
■28：システム担当者が知っておくことなどマニュアル等があれば助かる。県本部内の役職員からの質問に答えたりサポートしたりするのが困難に感じる。

(2)県本部の IT 環境改善のために必要と考えられることはなんですか？(自由記述)
■1:役職員が従来の取扱いを改め(紙を使うこと等)、IT を駆使する努力をすること。
■2:役職員の専門知識の取得の必要性は感じるが、なかなか行動にたどり着かない。
■3：単組におけるＩＴ環境の整備
■4：WI-FI 環境がぜひ欲しい。
現状では、WEB 会議などで会議室が変わるたびに、LAN ケーブを引き直しており、
参加者が足を引っかけないようテープ止めしたり、準備が大変である。
■5：栃木では県ネットを導入しておらず、じちろうネットの利用単組もごく一部に限られている。書記局に IT に詳しい役職員がいないため、面倒なものを導入したくないという意識が強い。じちろうネットの証明書更新も毎年説明する必要がある。
会議やイベント等の出欠確認もまだまだ FAX に頼っている状態。IT 担当者の知識の底上げが必要。(そもそも IT 担当者もいない可能性が高いが。)
■6:知る機会を作ることだと考えます。クラウドやＡＩ、サーバーなど様々な単語への理解が浸透していません。
自分の活用できる範囲まで迫ってきていることを認識していない方がほとんどなので、広く役職員が理解できるような資料などがあれば、そうしたものを活用して様々な利便性の向上が図れると考えます。
ですので、そうした活用についても本部のご支援を賜れればと考えています。
その他、書く欄が無かった点について、以下に記載します。
サーバーにアクセスできる機器が県本部で購入 or d リースした以外の機器からのアクセスが可能になるとすると、ウイルス感染した機器からの情報漏洩などの心配もあると感じました。
PC の選定については自由度が高い方が望ましいですが、必要なスペックについてはお示しいただけたら安心感があると感じます。〃
■7：良いサービスはお金がかかるので予算確保が難しい
■8:IT 担当だけでなく、県本部役員、書記全体が IT 環境に関する知識を深める必要

がある
■9：専門知識を持つ役職員がいてほしい
■10：環境が改善されても、ついていけていないのが現状で、全体が理解できるようなものにしてほしい
■11：県本部のフリーアドレス化
業務にあわせて人が動ける環境の方が仕事がやりやすいのではないかと感じている。役員交代時に担当業務の経過や資料がわからなくなったり、担当者が複数いることで、無駄な印刷や業務が発生するので。〃
■12：単組の IT 化、IT に長けた役員・書記の育成など。
■13：① まずは教える・見せる側の自治労本部役職員全体の大幅な IT スキル・リテラシーの向上と、民間での IT 活用状況の理解促進。
② 各県本部上層部への強制的な IT 研修の定期実施。
③ 各県本部書記への IT 研修の実施。
④ 各県本部の業務における IT ツール活用による効率化等の情報提供。先行した県本部の事例共有。
? 各県本部書記間での情報共有・交流の場の設置と強制参加動員。
■14：長尺プリンターの買い替えなど、PC 以外の古い機械の入れ替えをしたいが、財政的に厳しい状況がある。
■15：役員の理解と予算
■16：環境は充実している。使いこなせていないのではと感じることがある。
■17：県本部担当者が、PC のスペックの見方などについて知識を深めること。
■18：ランケーブルやハブの規格の見直し。ペーパーレス化の推進。
■19：ＩＴセンターに今後もサポートを続けてもらえると県本部としても安心。
■20：役職員の知識の向上

以上